横田のSTART、COVID-19対応支援

Yokota's Stress Management and Resiliency Team lends a helping hand during COVID-19

May 7, 2020

By Staff Sgt. Gabrielle Spalding
374th Airlift Wing Public Affairs

試練に直面した時、困難な時を乗り切る助けがあることで、対処や適応の負担が緩和される。

COVID-19の世界的流行は今やこうした課題の最前線にあり、このほど立ち上げられた「ストレス対処と回復チーム（START）」は、横田コミュニティ共同の“救いの手”として機能している。

「STARTイニシアチブは、部隊の先任下士官と連携し、制限、隔離、または孤立状態にある横田コミュニティのメンバーに継続的な支援をする、コミュニティ支援の総括的な取り組みである」とエアマン・アンド・ファミリー・レディネスセンター（A&FRC)長代理およびSTARTコーディネーターのカーラ・タイソン氏は説明する。

A&FRC、教会、USO、軍人家族生活コンサルタント、赤十字などの基地の支援機関は全て、STARTプログラムを通じて、行動移動制限または隔離下にある人々に直接的な支援とサポートを提供している。

「我々の使命は、COVID-19対策の中で、精神的、感情的、社会的、心的な日常生活上のニーズを特定、評価し、満たす取り組みを連携して行うことだ」とタイソン氏は述べる。

行動制限や隔離下にあり、支援を必要とする場合は、部隊の担当もしくは先任下士官に相談し、必要な支援を適切に得ることが大切だ。

行動制限や隔離下にいる人に加え、STARTは、家から出られない部隊のメンバーを支援することにも取り組んでいる。

「行動制限や隔離を受けている部隊のメンバーに支援をしたい人々は、指揮系統を通すこと。我々のコミュニティのメンバー全員を安全に保つことが、我々の共通の使命だ」と第374通信中隊先任下士官兼STARTコーディネーターのマリオ・レインジ曹長は語る。

このSTARTイニシアチブのチームは、COVID-19パンデミック対応とその影響を受けている横田コミュニティメンバーのために特別に形成されたとタイロン氏は話す。彼女は、こうした活動の案が他の基地でも取り入れら得ることに期待を寄せている。

コロナウィルスの課題が続く限り、STARTイニシアチブは、支援を必要とする人々に支援の手を差し伸べ続ける。